

老眼研究会モーニングセッション

第7会場 (ヒルトン東京ベイ2F | クリスタルボールルームC)

6月28日 (金) 7:10~8:40

座長：坪田一男 慶應大
前田直之 大阪大

Training the brain to overcome the effect of presbyopia ~脳を鍛えて老眼を治す!~

Uri Polat School of Optometry and Helen Wills
Neuroscience Institute, U.S.A ✓

WIOL ~人水晶体に近い眼内レンズ~

Juraj Urminský
Area Hospital of Thomas Bata, Czech Republic

調節力の測定方法

不二門尚 大阪大

マルチフォーカルIOL Update

ビッセン宮島弘子 東京歯大・水道橋

座長の言葉

JSCRS 学術総会の朝の恒例となりました老眼研究会モーニングセッションですが、世界的にも老眼治療の時代を迎え、研究会の内容も充実して参りました。

第6回となる今回は、海外の最新の老眼治療について、ビデオ講演にてご紹介いたします。

はじめは、Uri Polat 先生 (カリフォルニア) より、老眼鏡を不要とするためのトレーニングについてお話しいただきます。続いて、Juraj Urminský 先生 (チェコ) より、新しい調節機能付眼内レンズの解説と臨床報告をお願いしています。スクリーンでのディスカッションも準備していますので、ぜひ会場にお運びいただき、ご意見ご質問をお寄せください。

後半は、老視のひとつのパラメーターとなる調節力の測定について、最近さまざまな計測器が出てきていますので、不二門 尚先生に測定のコツなども含めて解説をお願いいたしました。

そして最後に、ビッセン宮島弘子先生に、多焦点眼内レンズのアップデートをまとめていただきます。

早朝の1時間半、老眼治療の新しいステージを垣間見ていただければと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

MEMO